



ナルゲ リニューアル



今号から巻頭言は、創刊以来書いてきた会長に代わり、私が担当することになりました。

せっかくなので少しナルゲの構成も見直そうということになり、ロゴを刷新してページ数を削減しました。新しくなったナルゲの印象はいかがでしょうか？ 多少若々しい感じが出せているでしょうか。ページ数は減りましたが、その分記事を詰め込んで内容は充実化していこうと思っています。

社長になって変わった事といえば、少し体重が増えたことでしょうか。まあ、増えたといっても標準よりはまだ随分痩せている方なのですが、やはり少しずつお腹が出てきたように思います。何とかしなければと思っているのですが、今は月に一、二度草野球をしてるぐらいで、これでは運動不足なのは明らかです。フィットネスクラブとかも考えていますが、一人で続けるのは根

気が要るんですね。でも、会長ような体型にはなりたくないで、身体改造に挑戦していきたいと思います。

さて、今年は私だけでなく、ケイビーエスにとっても挑戦の年になります。3月にはインテックス大阪で開催された「JP2004メディアプロデュース展」に初出展し、それに合わせて会社案内やホームページ等もリニューアルしました。7月には東京ビッグサイトで開催される「JGAS2004印刷ビジネス交流展」にも出展し、より広範囲に営業活動をしていこうと思っています。

さて、前口上はこれぐらいにして、元気いっぱいの社員の記事を楽しんでください。今後ともリニューアルしたケイビーエスとナルゲをよろしくお願いたします。

代表取締役 高 允 男

Jp2004 メディアプロデュース展に出展

3/25~27 インテックス大阪



JP2004情報・印刷産業展が3月25日(木)~27日(土)の3日間、インテックス大阪で開催されました。JP展は関西地域では最大規模の印刷関連産業の展示会で、今回はIT情報関連業界とのコラボレーションを実現する場として「メディアプロデュース展」(近畿印刷工業会主催)が併催され、これにKBSも出展し、「多言語のKBS」を大いにアピールしました。

【制作部 李秀泰】

「KBS多言語ワークフロー」を紹介



予想以上の客足にスタッフも対応に大忙し

今回の目玉は何といっても、KBSの“多言語ワークフロー”をデモで見ていただくということでした。そこでテーマを、①多言語文字データ②多言語ドキュメント制作③多言語自動組版——の3点にしぼって展示とデモを行いました。

「**多言語文字データ**」とは、例えば韓国語や中国語、あるいは複数言語の混植で組版さ

れた文字をアウトライン化したり、フォント埋込みのPDFデータにすることによって、出力環境を容易に提供できる、現在でも最もポピュラーなワークフローです。

「**多言語ドキュメント制作**」は、翻訳メモリーソフトのTRADOSとInDesignやFlameMakerなどとの連携によるワークフローで、マニュアルなど大量ページ物の短納期・省コスト化を可能にします。

また「**多言語自動組版**」とは、KBS独自開発のプログラムで、データベースから一気に大量定型ページを自動組版してしまおうというものです。

今回のJP展では、KBSがいま打ち出しているこれらの多言語ワークフローについて、パネルではフローチャート式で説明し、さらにデモを交えてお客様に理解を深めていただくようにしました。

「多言語自動組版」デモでは、KBSが得意とするカラオケ組版をお見せしました。韓国曲や中国曲の曲数が今どんどん増えているカラオケ本ですが、まさに多言語混植の典型と言えます。組版難易度も単純そうで実はそうではありません。そこにはルビがつかまとい、文字数に応じての変形処理をともない、罫線も一定と思いきや、それがそうではなく、手作業でおこなえば気が遠くなりそう



KBS自慢のカラオケ自動組版デモ社長の説明にも熱が入る

韓国ドラマ ウラ話

制作部 鄭 哲 源

2002韓・日ワールドカップをきっかけに両国の文化交流が進む中、「冬のソナタ」が最近NHKで放映されて大人気となり、韓国メディアに対する関心がますます高まっている。先日「冬のソナタ」の主人公であるペ・ヨンジュンが羽田空港に到着した時に、雨天にもかかわらず数千人のファンが押し寄せたという記事を見て、こっちまで胸が高鳴った。ここでは、いま日本でアツい韓国ドラマの裏話をいくつか取り上げてみよう!

「冬のソナタ」のプロデューサーはユン・ソクホという名物プロデューサーで、「冬のソナタ」以前にも「秋の童話(日本放映作)」というドラマで、既に日本でも有名だ。当初「冬のソナタ」は、「ホワイト」というタイトルで製作される予定だったが、「秋の童話」と関連付けてタイトルが「冬のソナタ」に変更され、その結果「季節」シリーズが誕生! 現在、「夏の香り(日本未放映)」というドラマまで製作されたが、前の2作に比べて人気が出なかったため、春を素材にしたドラマの製作が延期されることに。しかし、近いうちに「春のワルツ」というタイトルで新ドラマが製作され

る予定だという。

一般的に、韓国ドラマは日本ドラマに比べて一編が長い。日本ドラマが9~11話程度なのに比べて、韓国ドラマは基本が16話だ。ここで面白いのは、韓国ドラマは放映以後に人気が出れば、16話から20話ぐらゐまでシナリオを修正して放映を延ばしたりするが、その反対に人気が出なかった場合は、12話から14話ぐらゐで幕を閉じたりする。もし韓国ドラマが見たい場合、あまり情報がなければ、とりあえず長い作品を選ぶのも一つの手ではないかと思う。

また、日本とは違い韓国ドラマの題材は限られている。たいてい“男女間の恋愛や結婚、あるいは主人公の不治の病または死”などだ。これは、かつてから韓国の伝統を重要視して来た文化の影響が大きい。当分は、日本のドラマのように、現実であり得る夫婦間の不倫、不良学生など、韓国的な思想でタブーとされる題材を扱うドラマは韓国ではみられないだろう。

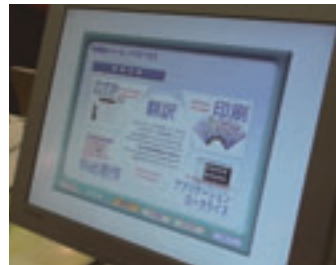
最近日本だけではなく台湾、香港、中国、ベトナム、アラブ圏まで、アジア全域で韓国ドラマがブームになっていることは、韓国人の一人としてとても喜ばしい。この波に乗ってドラマだけでなく、いろいろな分野でも進出し、世界の中の韓国を輝かせてほしいと思う。



韓国から視察に来た印刷産業新聞の朴社長(右端)



合間をぬってセミナーで勉強も



会社案内をBGM付でスライドショー



おなじみAppleとAdobeのセミナーも行われた



「ウ〜ム、なるほどネ」上間部長(左)と稲木チーフ



手振りを交えての説明はいむ専務

な、そんなオペレーター泣かせの組版です。それがKBSカラオケ自動組版システムでは、データベースソフトで管理したデータを一気に組版ソフトに流し込み、瞬時に組み上げていきます。文字数が多い部分は自動的に長体

がかけられていきます。「ワー、こりゃすごい！」と来場客の目は釘付けになり、大きな反響をよびました。

この他、今回は(株)コトブキ企画が開発した「PageView」を多言語化させた「**多言語View**」も緊急出品し、JP展向けに制作した社内報なげ特別号や韓国語入門教科書の多言語View版を見ていただきました。これはカタログ印刷時に出来上がったDTP(PDF)データを利用し、実際のカタログをめくるように、Webサイト上で閲覧できる新しい形のコンテンツビューアーです。

今回のKBSブースの特徴は、他の多くのブースのように、機械やモノ、パッケージ商品などを売るのではなく、多言語に関して私たちができる仕事の内容とその技術をアピールするということでした。そういう意味では、展示会を通じて多様な分野の方々や接し、様々な質問や新たな要望を受けとることができたことは、私たちにとっては新しいニーズの開拓と仕事の拡大への大きな刺激となるものでした。

tagengo.jp

“赤い集団” 一際目立つ

展示会場では、赤いジャンパー姿がひときり目立ちました。今回のJP展に合わせて作ったKBSのスタッフジャンパー。背中には“tagengo.jp”の大きな白抜きロゴ(な

ぜか会長のジャンパーだけは「多言語」の漢字入りでしたが)。この3日間私たち全員がこの赤いジャンパーを着てブースに立ち、ある時は展示会場を見て回ったり、セミナーを受講したりと、所狭しと動きまわり、まさに“赤い集団”が目をはきましました。

私自身、これまで何度もJP展には足を運びましたが、ここ数年は遠ざかっていましたし、出展する側としてはもちろん初めてでしたので緊張を隠せませんでした。また不況続きの折、客足もいまひとつかなあー、との心配もありましたが、予想より人出は多かった3日間でした。なによりKBSのブースに思っていた以上にお客様が立ち寄ってくださり、スタッフたちの説明にも次第に熱がこもりました。

展示会にはまだまだ不慣れな私たち社員でしたが、3日間の展示会を通じて一人一人のお客様と接するという貴重な機会を得たこと、そしてデモやパネルを通して説明し、お客様からの質問にお答えしていったことによって、「多言語のKBS」の実際をわかりやすくアピールできる機会となったと思います。



入社まもない慎さん「アンケートお願いします！」

2002年 韓・日 월드컵 を 계기로 양국의 문화교류가 활발한 가운데, 최근 NHK에서 방영되고 있는 겨울연가(일본명: 겨울소나타)가 큰 인기를 끌면서 한국 미디어에 대한 관심이 날로 높아지고 있다. 얼마 전 겨울연가 주인공인 배용준이 하네다 공항에 도착했을 때, 우천에도 불구하고 수천 명의 팬들이 몰려들었다는 기사를 보고 부들부들 떨었다.

최근 일본에서 열풍적인 기세를 몰고있는 한국 드라마의 뒷이야기에 대해 몇가지 살펴보자!

‘겨울연가’의 제작자는 한국에서도 유명한 윤석호 PD로, 겨울연가 이전 ‘가을동화(일본방영작)’라는 드라마로 이미 일본에서도 유명하다. 애초 겨울연가는 ‘화이트’라는 타이틀로 제작될 예정이었으나, 가을동화와 연관시켜 그 타이틀이 겨울연가로 변경되었으며, 그 결과 계절시리즈 탄생! 현재 ‘여름향기(일본방영작)’라는 드라마까지 제작되었지만, 여름향기가 전 2작에 비해 인기를 끌지 못하자, 봄이라는 소재를 다룬 드라마의 제작이 늦춰지게 되었고, 조만간에 ‘봄의 왈츠’라는 타이틀로 제작될 예정이라고 한다.

한편, 한국 드라마는 일본 드라마에 비해 긴 시간을 할애하는 편이다. 일본 드라마가 9~11편(IH기준)정도에 비해, 한국 드라마는 기본 16편(IH기준)정도

다. 여기서 재미있는 사실은 한국 드라마는 방영 이후 꾸준한 인기를 끌면, 16편에서 최고 20편까지 대본을 수정하여 방영작을 늘리기도 하지만, 반대로 인기가 없는 경우는 바로 12편에서 14편 정도로 마무리지어 막을 내리기도 한다. 만약 한국 드라마를 보고 싶을 때 마땅한 정보가 없다면, 일단 긴 작품을 고르는 것도 하나의 Knowhow가 아닐까 생각한다.



또한 일본과는 달리 한국의 드라마 소재는 한정적인 편이다. 대개 ‘남녀간의 사랑이나 신분 상승, 혹은 주인공의 불치병 또는 죽음’ 등으로 제한되어 있다. 이것은 예전부터 한국의 전통을 중요시해오던 문화의 영향이 크다. 당분간은 일본의 드라마 소재와 같이 현실에서 있을 법한 부부간의 불륜, 불량 학생 등과 같은 한국적 사상에서 도를 지나치는 소재를 다루는 내용은 한국 드라마에서는 찾아보기 힘들 것이다.

최근 일본만이 아닌 대만, 홍콩, 중국, 베트남, 아랍권까지 아시아 전역에 한국 드라마가 대히트를 치고 있는 것은 한국인으로서 자랑스러운 일이 아닐 수 없다. 이 물결을 타서 드라마 뿐만 아니라, 다양한 분야로도 진출을 확대해 세계속의 한국을 빛낼 수 있으면 하는 바람이다.

九州、鹿児島に行く

大きな温泉に入って



左から社長夫人、村田社長、私、星野カメラマン



沈寿官登案

ゴールドは、九州の宮崎、といても鹿児島、島の県境、えび野というところにあった。田舎ではあるが、鹿児島空港から、自動車ですら30分以内のところ、高速道路のインターチェンジ

の名は有名だ。

2002年1月には15代目が沈寿官の襲名を受けて、伝統の窯を守り続けている。

これは余談になるが、現在の沈寿官の日本名は「大迫」という。このときは韓国名で帰化できなかった。日本人らしい名字で帰化しなければならなかったのだろう。

ゴールド工業の九州支社、九州

ジのそばで、交通は便利なところであった。

霧島ホテルで泊まり、ホテル内の温泉に入った。ところが、この温泉どでかい！こんなに広いのは初めてだ。

次の日は鹿児島島の磯庭園を見学した。

ホームページにも紹介している。

<http://www.inbong.com/2004/gold/kankou/>

初孫が生まれた

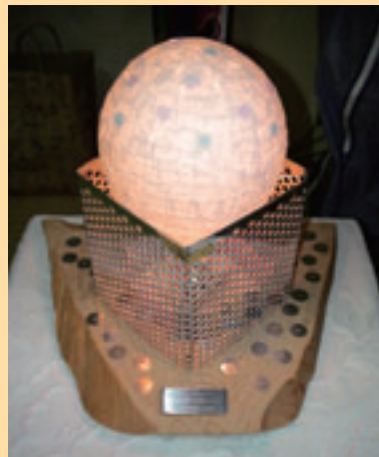
高 仁 鳳



すやすや眠る初孫



孫を抱きかかえて



フォーラム・アイのメンバーから送られてきたオブジェ「まだんランプ」。

2月17日の朝、次男の允哲から電話があった。「生まれました」と。

私たちはJR阪和線の和泉府中にある府中病院へ駆けつけた。

新生児の部屋に寝かされている赤ちゃんたちがみんな同じように見える。でも、ガラス越しに見える、自分の孫はその中でも一番男前に見えた。

「お、しっかりした顔しとる」と私たちは互いに顔を見ながらそういった。

赤ちゃんの名札には、「2004年2月17日午前3時28分生まれ、体重2688」と、そう書いてあった。

名前を敦史（あつし、韓国語読みでは^{ドンサ}トナサ）とつけた。

100日を迎えるときに、生野異業種交流会フォーラム・アイのメンバーたちから孫の敦史への「メッセージ」と、「まだんランプ」のオブジェが贈られた。

このランプは、メンバーたちの会社のそれぞれの技術を持ち寄って創作され、デザインは「i」をかたどっており、ランプの部分は和紙製で太陽を、胴体は打抜き素材で囲い、土台は木製で古代の船をあらわし、その上にメンバーのイニシャルが刻印されたメダルが散らされている。これは波しぶき（メタル）をあげて進む船、そして前に敦史の名前と生年月日を刻んだ銘板。忙しい中を手づくりで作って下さった。感謝、感謝、本当にあ

りがとうございます。

5月23日の日曜日、私の家族全員で祝った。

だいぶ大きくなっていて、首もしっかりして、だっこもしやすくなった。それでも私のだっこはぎこちないのかな。

私は私なりに孫、敦史の成長記録を「鳳@bongのpage」に載せて行くつもりだ。

<http://www.inbong.com/mago/>

敦史は在日4世になる。この子が成人したとき、社会はどうなっているのだろう。よりよい社会へ力をだしたい。

沈 寿 官 窯 を 見 学

会 長 高 仁 鳳
(ko inbong)

6月7日から8日、ゴールド工業の会社案内制作のための写真撮影に同行した。

九州へ行ったついでに鹿児島、霧島など観光することにした。

何よりも沈寿官の窯に行ってみたかったのだ。

李朝陶芸の秘宝 400年間伝える

沈寿官に関することは、パンフレットには、次のようなことが書かれてあった。

沈寿官の祖先は、韓国慶尚北道青松から、1598年に第17代薩摩藩主島津吉弘が鹿児島へ連れてきた約80名の陶工たちの中の一人であった。



ゴールド工業の村田社長は沈寿官の壺を購入した

1603年、

伊集院郷苗代川(現在地)に初代沈当吉が苗代川焼を開窯したといわれる。

それから18年後に初代沈当吉は薩摩藩の命を受け朴平意と共に白土を発見し、今日の薩摩焼を創製したといふ。

約400年間一子相伝で李朝陶芸の秘宝を伝えてきた

沈家はその血脈を守り歴代名工の名をほしいままにしながら、薩摩の歴史と共に生きてきた。

明治維新の風は苗代川の陶工たちには冷たかったが、第28代藩主島津斉彬公時代より薩摩焼が見直され、12代沈寿官は明治6年にオーストラリア万国博に大花瓶一対を出品。これが外国人に大きな賞賛を博した。それから、諸外国にも薩摩焼が「サツマウエア」という名で日本陶器の代名詞にまでなった。

12代沈寿官は製法などの工夫も多く、特に透彫、浮彫の技法の発明は高く評価された。

13代沈寿官はロクロ一筋で陶工としての栄光に満ちた一生であったといふ。

1964年に沈寿官を襲名した14代は作家司馬遼太郎の「故郷忘れなく候」の主人公としても知られ、全国で「沈寿官展」を開催して、そ



沈寿官窯入口

U-23 サッカー日韓戦を観て

制作部 鄭 哲 源



지난 2월 21일 KBS사원과 함께 한·일 올림픽 대표팀 평가전을 관전했다. 선수들의 움직임 하나하나에 탄성과 환호성이 경기장을 가득 메웠고, 붉은 악마의 열띤 응원 속에서 게임은 0:2로 한국이 패하여 아쉬웠지만, 게임에 임했던 선수와 서



포터들의 땀방울 속에서는 승자도 패자도 없는 듯 했다. 경기 종료 후 서로를 격려하는 양국 서포터들의 높아진 수준은 TV에서는 맛볼 수 없었던 감동의 한 장면이었다.

2月21日、KBS社員たちと日・韓オリンピック代表チーム評価試合を観戦した。選手たちの動きにためいきと歓呼の音が競技場を埋めつくした。レッドデビルスの熱い応援にもかかわらず、韓国は0:2で敗れてしまったが、ゲームに臨んだ選手とサポーターたちの、その汗じずくには勝者も敗者もなかった。試合終了後、お互いを励ます両国のサポーターたちの交流はテレビでは味わえない感動の一場面だった。

台湾へ行って来ました~!!

2004社員旅行記

文・イラスト
営業企画部
慎 佳代子



6月10~12日、KBSの社員旅行で台湾に行ってきました。3月に入社して右も左もわからない私を、やさしい目で見守ってくださっている先輩方、がんばって仕事覚えませす!でも、その前に社員旅行で、はしゃがせて下さい!!「楽しい旅行になりそう☆」と期待を胸に関空に向いました。



台湾に着いてすぐ、バスに乗り着いた先は三峡祖師廟。橋の手すりに日本の狛犬のような動物がたくさん並んでいて、よくみるとそれぞれ顔やポーズが違いました。



街角のファミリーマート。とにかくコンビニが多かった。



「士林夜市」の屋台。ニワトリの爪やカモの舌など売ってました。



台湾語はKBSでもよく使用する言語なので街で見かけた文字の意味がわかったりして、ちょっぴり得意気です(笑)。多言語を取り扱っているKBSで日常業務を覚えるだけではなく、世界各国の言葉と触れ合う機会を大切にしていきたいと思っています。

私じゃないぞ!



1)

飛行機の中ではお隣にカクさんと幸子さん。眠気もなんのその、おしゃべりに花が咲きました。



台湾は原付バイクが多い。しかもみんなマスクしてます。



台湾で有名な陶芸の里、鶯歌では稲木さんが店員さんに負けにくいくらい、器でいい音を出していました。山蔵さんと私は大学時代陶芸専攻だったので、ちょっぴり陶芸トークをしてみたり……。



実はこの電車で会長と幸子ちゃんが乗り遅れそうになったのを、田庭さんが力づくで乗り込ませました!!(私はその雄姿に惚れました)



買い物に没頭しました。

機内食は、行きも帰りも同じメニュー。多くの人は「機内食はマズイ」と言いますが、私は雑食なのでおいしくいただきました。(笑)



インターネットで調べた人気店「好記担仔麵/阿美飯店」で。店先には本物のメニューがズラリと並んでました。



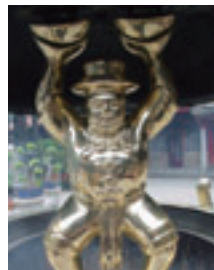
夜は伝統のある圓苑で台湾料理を楽しみました。社長・部長・次長の長さんトリオは紹興酒を呑んでいい色になっていました。



会長と鄭さんは、どこでもいつでもカメラでパシャパシャ。実は私は写真を撮られるのが苦手です普段は撮る方なのですが、二人は私の承諾もなしに、たくさん撮ってくださいました。(笑)



専務はお孫さんにパンダのぬいぐるみを、北村さんは烏龍茶をたくさんお土産に買っていらっしゃいました。私も夜市でたくさん自分用のお土産を購入しました。(スニーカー・キャミソール・スカート・かばん・マニキュア etc...)



違和感なく溶け込めた台湾

制作部 稲木 隆文

台湾は日本より南にあるので6月初頭でも暑いと思っていましたが、曇っていた事も薄い長袖でちょうど良いぐらいの気候でした。

道を走るのには日本車やベンツ・アウディ、バイクも日本製の物が多く看板は漢字、ビル の壁には洋画の宣伝、歩いてるのも東洋人、そこら中にコンビニがあり日本にいてるのとあまり変わらない感じでした。

繁華街は服屋・食べ物屋・雑貨屋などが密集しており深夜12時を過ぎてても人通りが減らず時間を忘れてしまいそうでした。若者の服装も日本とよく似ていて、私も違和感なく溶け込んでいたことでしょう。違うところは日本ほど奇抜な格好をしている若者がほとんどいないところでしょうか。



ガイドの人に言われた「危ない通り」に入っても危険を感じる事はなく、屋上で売っている肉まんや生ジュースなどを食べてもお腹が痛くなる事はありませんでした。服屋や雑貨屋には日本でも定番のブランドやキャラクターが並んでいて、日本アニメのフィギュアはプレミアがついてるのか日本より高く売っていました。

台湾にはセブンイレブンやファミリーマートなどたくさんの便利店(コンビニ)があります。コンビニなら言葉が分からなくてもボラれる事もないですし、免税店みたいに鬱陶しい店員も寄って来ないので快適に買い物を楽しめました。逆にデパートやスーパーはほとんどなくて、あってもガラガラでした。

ツアーで立ち寄った観光地は色々ありましたが、故宮博物院は改装中でほとんど見れず、寺も似たような所を2カ所、しかもガイドの人が早口過ぎて聞き取れませんでした。こんなことならガイドブックでも買っていけばよかったです。

台湾旅遊之感想

翻訳部

郝 晓 雯



去台湾看看，这是我多年来的愿望。至所以会产生这种愿望，恐怕是与我生在大陆、长在大陆、以及接受共产党的教育有关吧。这次作为公司的“社员旅行”，能有机会去台湾，也算是实现了我的愿望。在此对台湾之行印象较深的简单的谈一下。

台湾的台北与大陆的上海、北京相比，感觉市容比较陈旧，高楼大厦也不像上海、北京那样鳞次栉比，整个城市似乎没有给人一种欣欣向荣的感觉。

但、与大陆的“自行车群”相比，台湾可谓是“摩托车群”了。自行车在大陆是作为上下班等的交通工具，可在台湾的马路上几乎看不到自行车，取而代之的是摩托车。仅从这点就可看出台湾与大陆的生活水平还是存在着一定的差异。

由于这次是“蜻蜓点水”的旅游，所以未能亲睹台湾名景“日月潭”的丰采，感到有些遗憾。

旅游中在与当地导游的闲谈中感到导游是位典型的“台独派”，我想不管是主张台湾独立还是主张与大陆统一，无论是台湾人还是大陆人，别忘了我们都是龙的传人！

永年の夢、台湾を訪れて…

「台湾へ行行って見たい」それが私の永年の夢でした。なぜそのように想っていたのか、おそらく大陸で生まれ育ち、共产党的教育を受けたことと無関係ではないでしょう。今回、社員旅行で台湾へ行くことができ、やっと夢が叶いました。ここで印象深かったことを少しお話ししましょう。

台湾の台北は、大陸の上海や北京に比べかなり古い街並みで、しかも上海や北京のような立ち並んだ高層ビルが少なく、都市全体として生々とした雰囲気あまり感じられませんでした。

ただ、大陸が「自転車族」なら、台湾は「バイク族」と言えるでしょう。大陸では通勤などの交通手段は自転車ですが、台湾では自転車はほとんど見かけず、バイクが代役を担っています。この点から見ると台湾と大陸の生活レベルには、まだ差があるように思います。

今回の旅行は「蜻蜓点水」(表面的で浅い意)で、台湾の景勝地「日月潭」を見ることができずとても残念でした。

旅行中、現地のガイドさんとの雑談では、彼が典型的な「台独派」だと感じましたが、台湾独立を主張するにしても、大陸との統一を主張するにしても、台湾人であっても、大陸の人であっても、私達はみな「龍の伝人」だということを忘れないで欲しいと思います。

提高繁體字的工作效率!! 繁体字環境をパワーアップ!!

台湾でフォント、辞書、
関連書籍を購入

台湾旅行、といっても遊んでばかりいたわけではありません。途中書店に寄って辞書や翻訳の参考になる書籍を買ったり、電気街では繁体字のOpenTypeフォント(100書体!)を購入しました。KBSの繁体字環境がますます充実しました。なお、この記事のタイトルは、今回購入した新書体を使用しています。



発行日 2004年7月12日

発行/編集 ケイビーエス株式会社
〒544-0033
大阪市生野区勝山北2-16-17
電話 06-6716-5665
FAX 06-6711-2804
E-mail info@kbsjapan.com
URL http://www.kbsjapan.com/

制作メモ 使用アプリケーション
Adobe InDesign 2, InDesign CS
Illustrator 8.0, Illustrator 10
Photoshop CS, Acrobat 6

編 集 後 記

●社員旅行のイラスト、各社員にそっくりだと思いませんか? 素晴らしい腕前でこのページを楽しく飾ってくれたのは今春入社した慎佳代子さん。今号から刷新された本誌タイトルのロゴも彼女のデザインです。多才な人材の登場に大いなる期待を寄せているのは、私ばかりではないでしょう。こんなに人材の揃った(自画自賛!?)KBS。皆さまのご要望にどうしお応えして参ります。どうぞご期待下さい!(たにわ)

夏期休暇のお知らせ 8月13日(金)~16日(月)

●人と人とが理解しあうのに、言語(ことば)が大事だと台北の街でつくづく感じた。下手な英語でもなんとかなるかと思ったが、甘かった。でもそこは漢字の国。思いついた漢字筆談で最低限の意思疎通はできた。人の顔、服装、街の雰囲気…、外から見ただけでは日本と変わらなかったが、印象に残ったのは、台湾の人々の生きている姿と、その飾り気のなさだった。(sute)

「KBSまだん」で行われている韓国語講座は昨年4月から始められ、当初は週1回1コースしかなかったが、今は3コースにもなって活気にあふれている。

■月曜日のコースは、益田先生が担当する初級。



月曜初級講師の益田先生と参加者のみなさん

文法にとらわれず、使える韓国語をと、始めと終わりに「猟奇的な彼女」の主題歌「I believe」を全員で歌う。■火曜日は初心者コースで、とにかくハングルを読めるようにする。マスミ先生が担当し、単語カードなどを使って、ハングルに親しめるようにしている。特にこのコースは大阪商工会議所東成生野支部からの補助を受け、5,000円の格安講習料だ。(但し5回。他のコースは10回で、講習料は2万円、次回コースからは1万5千円)

■木曜日のコースは昨年からの受講者が中心になっていて、中級クラス。大阪外大卒でソウル大学院卒の金先生が担当している。テキストを中心に、文章を読んで、単文を作ったりしている。そろそろ簡単な物語は読めるのでは。



韓国映画を観ながらの勉強も

興味のある方は、高仁鳳まで。(電話06-6716-5665またはEメールko@inbong.com)

リニューアル!

今回のリニューアルでは、デザイン性の向上と多言語にまつわるソリューションコンテンツの拡充に力を入れました。

多言語を導入してみたいけど、どうしたらいいのかわからない。そんな方々の手助けになるコンテンツを心がけました。

多言語を取り入れることで新たなビジネスチャンスがひろがります。弊社サイトはお客様にいろいろご提案できるツールでありたいと考えております。



<http://www.kbsjapan.com/>

楽しい韓国語講座

第1回

「あいさつ」

KBSまだん韓国語講座
月曜コース担当

益田 治

今回から「なるげ」誌上で日常生活の中でよく使う韓国語の表現や、教科書には案外載っていないことなどを取り上げていきたいと思います。

まずは最初ということもあって、「あいさつ」を取り上げてみたいと思います。

韓国語のあいさつといえば、言うまでもなく、皆さんよくご存知だと思います。

「안녕하세요」です。教科書などでは「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」のいずれにも使えると書かれています。時間を選ばないので便利です。もともと日本語と同じく「ご機嫌いかがですか」というような意味合いを持つ言葉で、映画でもドラマでもテレビ番組でもよく耳にし

ます。ところがこの挨拶、けっこうほかの場面でも汎用的に使えます。

韓国に旅行に行ったりして、初めて人に会った時、教科書的には、

「처음 뵙겠습니다」(初めてお目にかかります)

を使いたいところですね。でもこの場合でも「안녕하세요」で十分通用します。たとえば、

映画「ラストプレゼント」では、売れない芸人の妻が、お笑い番組のプロデューサーやその妻に、夫の売込みをしに行ったときに、映画「ラブストーリー」では、田舎の男子高校生たちが都会からやってきた国会議員の娘を道で初めて見たときに、やはり最初のあいさつは「안녕하세요」です。また、ちょっと人に声をかける時、「あのー」とか「すみません」とかの代わりに使われたりもします。人に声をかける時の大変便利なあいさつといえるでしょう。

ただ日常的には、毎日決まって会う同

僚などには、日本語の「おはよう」のように毎日「안녕하세요」とは言わないようです。

このようにドラマや映画をご覧になるときはどんな風に「안녕하세요」が使われているかを意識すると、「안녕하세요」の達人になれます。ただしきちんとあいさつする必要があるなら「안녕하세요」のあとに「처음 뵙겠습니다」と付け加えた方がよいでしょう。

また実際のあいさつの場面では、「안녕하세요」のあとに「반갑습니다」(お会いできてうれしいです)と言うのをよく耳にします。「はじめまして」というより「お会いできてうれしいです」というほうが、お互いの関係により前向きな印象を与えますね。ちょっと英語っぽい表現でしょうか。いきなり「반갑습니다」だけ言う場合もあります。いずれにしても、人に会ったら「안녕하세요」と言うのは欠かせません。そしてさらにそれが初めてであったり、久しぶりであったりしたなら、そのあとにぜひ「반갑습니다」と付け足してみてください。一気にお互いの距離が縮まると思いますよ。



お知らせ 「JGAS2004印刷ビジネス交流展」に出展

■7月14日(水)~7月17日(土)
■東京ビッグサイト

JGAS2004の詳細は、
<http://jgas.info/index.html>

皆様にお会いできることを
楽しみにしております!!

KBSブース：東5ホール GC-04

